

1. はじめに

日本体育協会日本スポーツ少年団では、平成11年6月に「スポーツ少年団育成母集団実態調査(以下、平成11年調査)」を実施した。平成11年調査の結果によると、育成母集団の実態として保護者会や育成会といった後援会的要素が強いといった問題点が挙げられた。スポーツ少年団が本来目指している育成母集団活動は、財政面・労力面・精神面で子どもたち団員を支援するばかりでなく、地域に住むすべての大人自身もスポーツや文化活動を楽しむことができるシステムを地域に形成しようとする活動である。スポーツ少年団における育成母集団は、子どもたちが生涯にわたって運動やスポーツに親しむために、極めて重要な意味と役割を持っており、活動の充実が求められる。

本調査は、現在の育成母集団の活動実態を把握するとともに、平成11年調査からの変化を確認することによって課題を抽出し、育成母集団活動の充実にに向けた方策を検討することを目的とした。